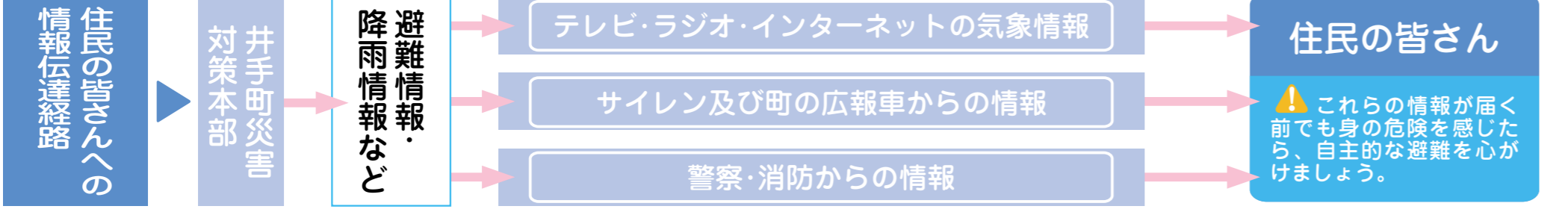
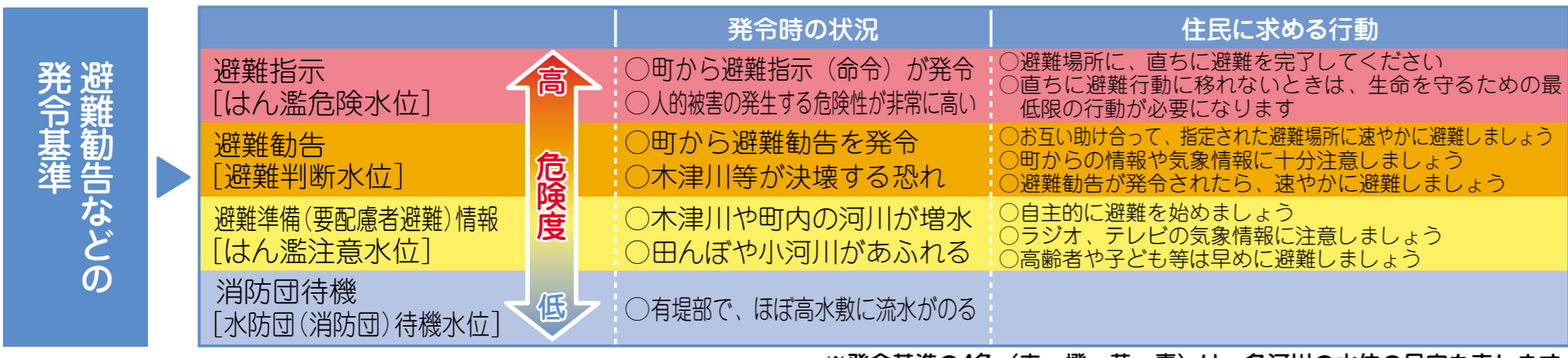
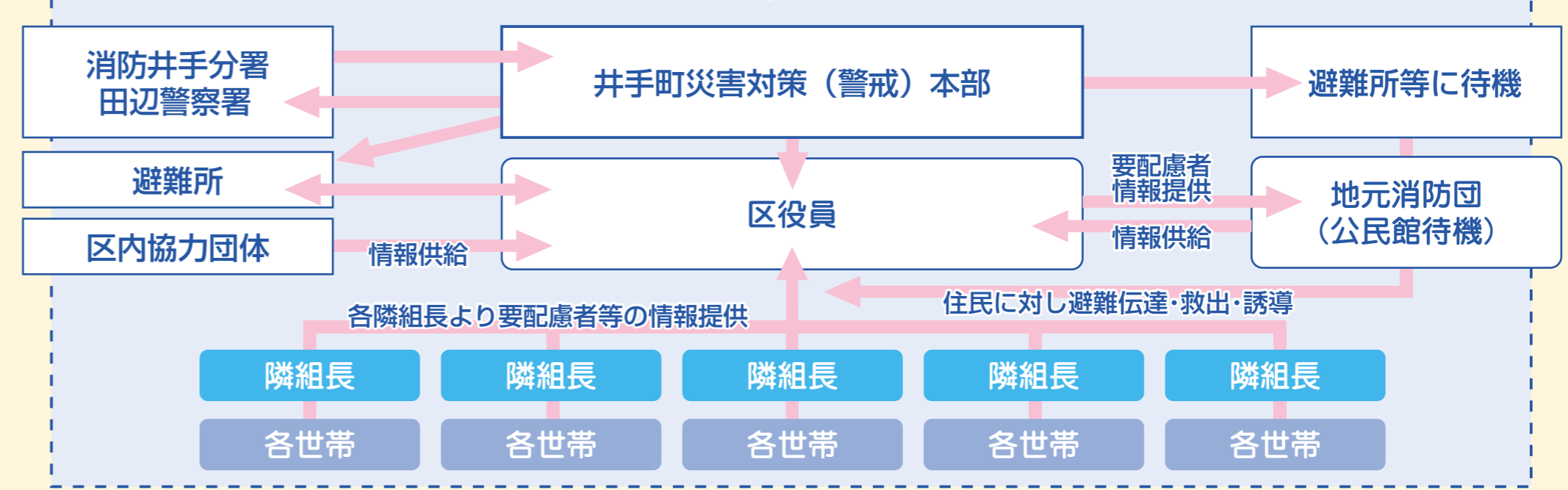


井手町 洪水ハザードマップ

地震や豪雨による水害などの災害は、いつ、どこで起きてもおかしくないと言われています。この度、井手町では新たな防災マップを作成しました。地震・水害などの被害想定を地図上で見ながら、災害時の避難場所・避難経路を調べましょう。また、事前の備えで災害による被害を防ぎましょう。



井手町の各地区自主防災組織図（イメージ）



避難所一覧

名称	所在地	電話番号	面積(m ²)	収容人数(人)	対象地区
自然休養村管理センター	大字井手小学二本校2-1	0774-82-4333	430	260	上井手・高月
山吹ふれあいセンター	大字井手小学二本校3-1	0774-82-5700	148	90	上井手・高月
山吹勤労者福祉会館	大字井手小学大塚99-35	0774-82-3639	1,432	870	上井手・高月
玉川保育園	大字井手小学玉川47	0774-82-2153	190	115	水無
玉泉苑	大字井手小学東前田28	0774-82-3499	103	60	石畑
井手小学校	大字井手小学東前田38	0774-82-2119	420	255	石畑・北
稻土分校	大字田中村新田小字有主13	0774-82-4412	51	35	有主
銀ヶ丘中学校	大字井手小学橋ノ本20	0774-82-2070	593	360	玉水・北
いづみ保育園	大字井手小学橋ノ下39-2	0774-82-4160	106	65	北・南
いづみ人権交流センター	大字井手小学橋ノ下37	0774-82-3380	493	300	北・南
自然休養村サブセンター	大字多賀小学橋内16	0774-82-3639	105	60	東部
多賀小学校	大字多賀小学内内20-1	0774-82-2112	391	240	多賀全域
多賀保育園	大字多賀小学橋内63	0774-82-2225	108	65	東部・南部
賀泉苑	大字多賀小学橋内29	0774-82-5059	103	60	西部・南部

この避難所は、洪水発生時には浸水する恐れがありますので、十分注意して下さい。他の避難所についても、注意の上、避難行動をとってください。

井手町 4河川 浸水想定区域図

- ① 浸水想定区域図は、作成時点の対象河川の整備状況等を考慮し、対象河川がはん濫した場合に想定される浸水の状況をはん濫計算により求めたものです。
 - ② 浸水想定区域図は、複数の箇所では堤防が壊れたり、水が漏れたりしたときのはん濫区域を重ね合わせたものであり、想定される最大の区域と水深を示しています。実際は、それらのうちの限られた箇所がはん濫し、その箇所から浸水区域が広がり、徐々に深くなります。
 - ③ はん濫計算にあたっては、木津川や内水によるはん濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域以外においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際的水深と異なる場合があります。
- ▲各河川の浸水想定区域図は、平成19年9月発行の資料をもとに作成しています。

凡例

急傾斜地
傾斜度30以上、高さ5m以上の急傾斜地（人口斜面を含む）で保全部が確保されず住宅等の新規立地が考えられる箇所

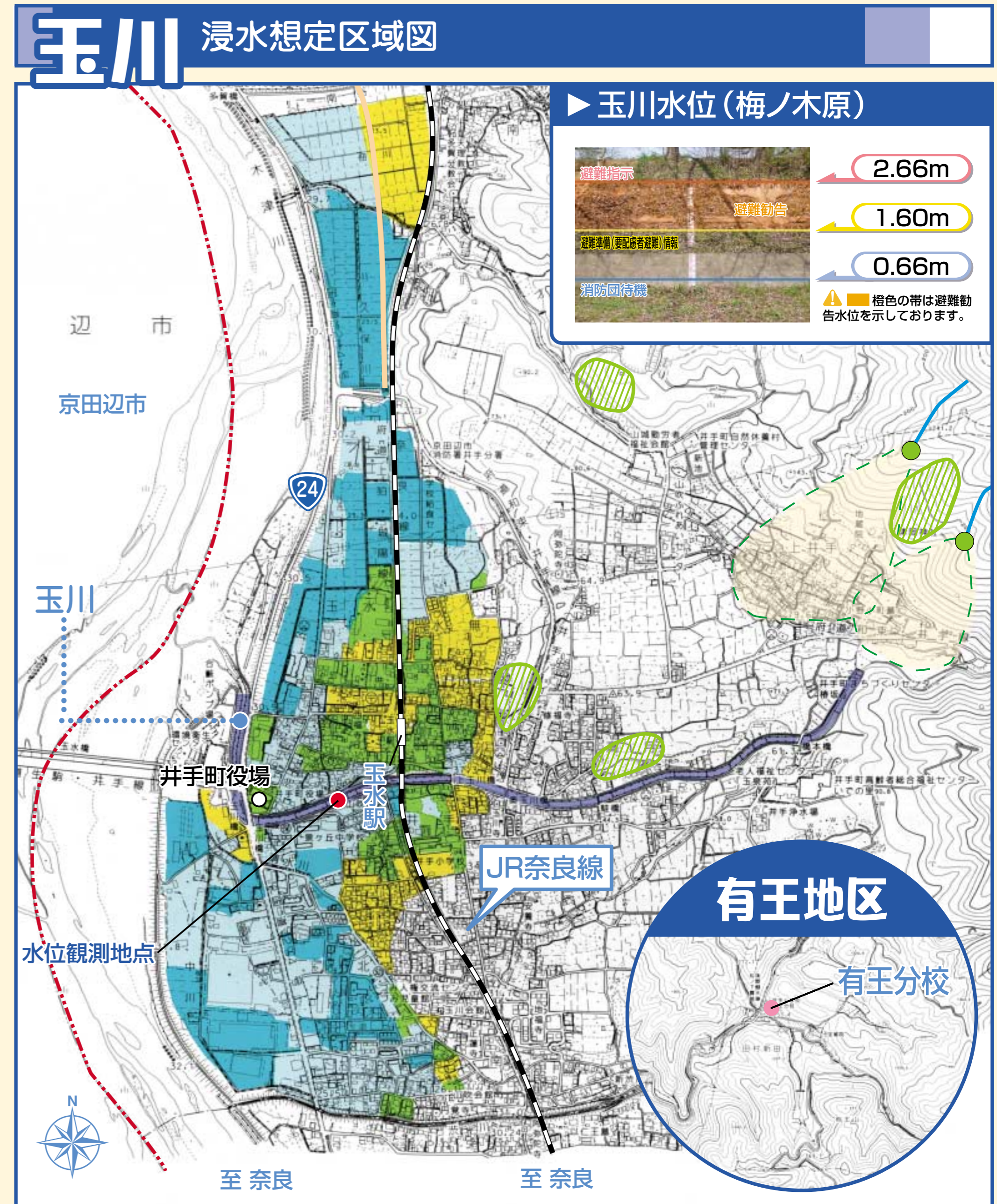
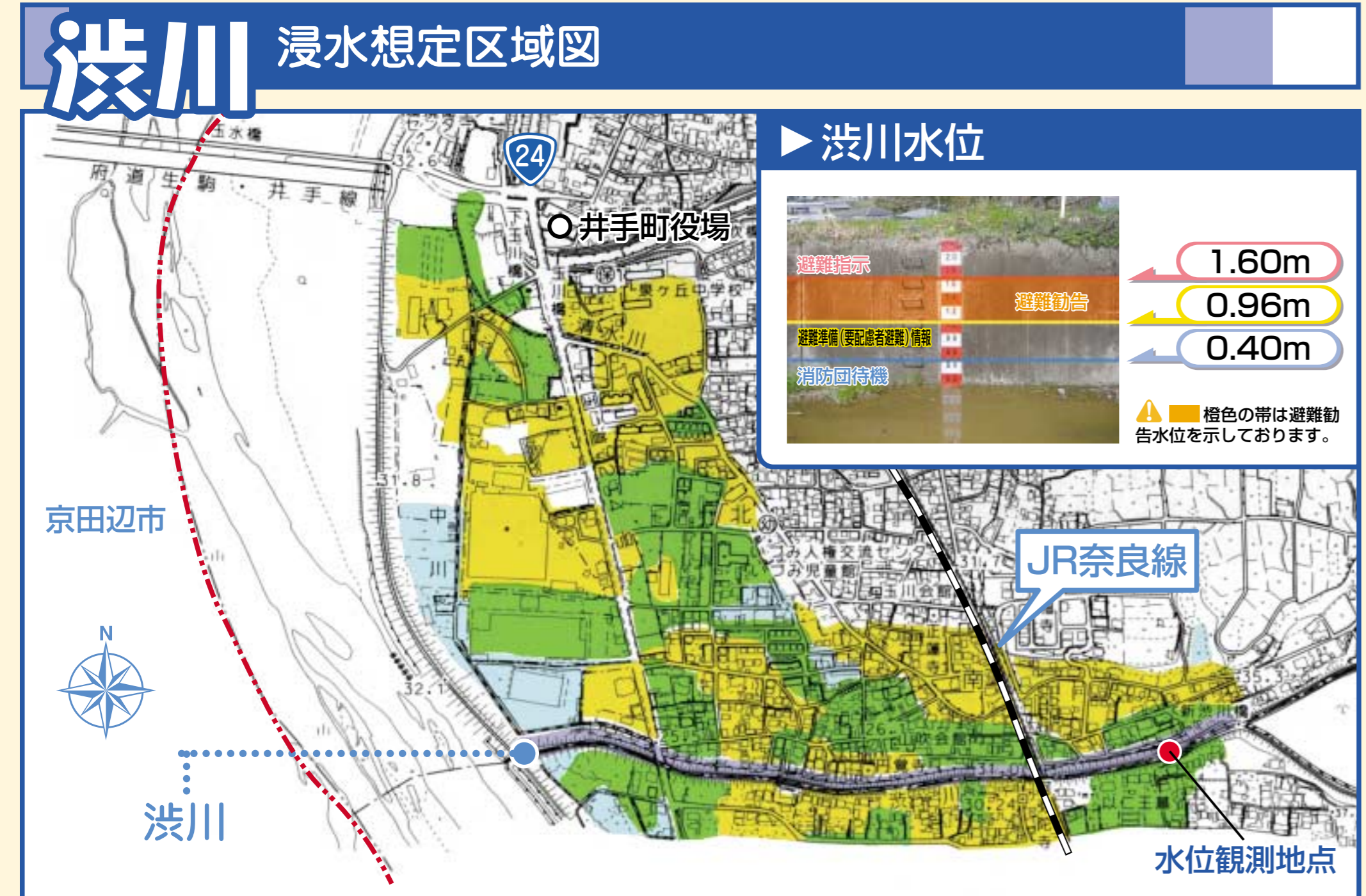
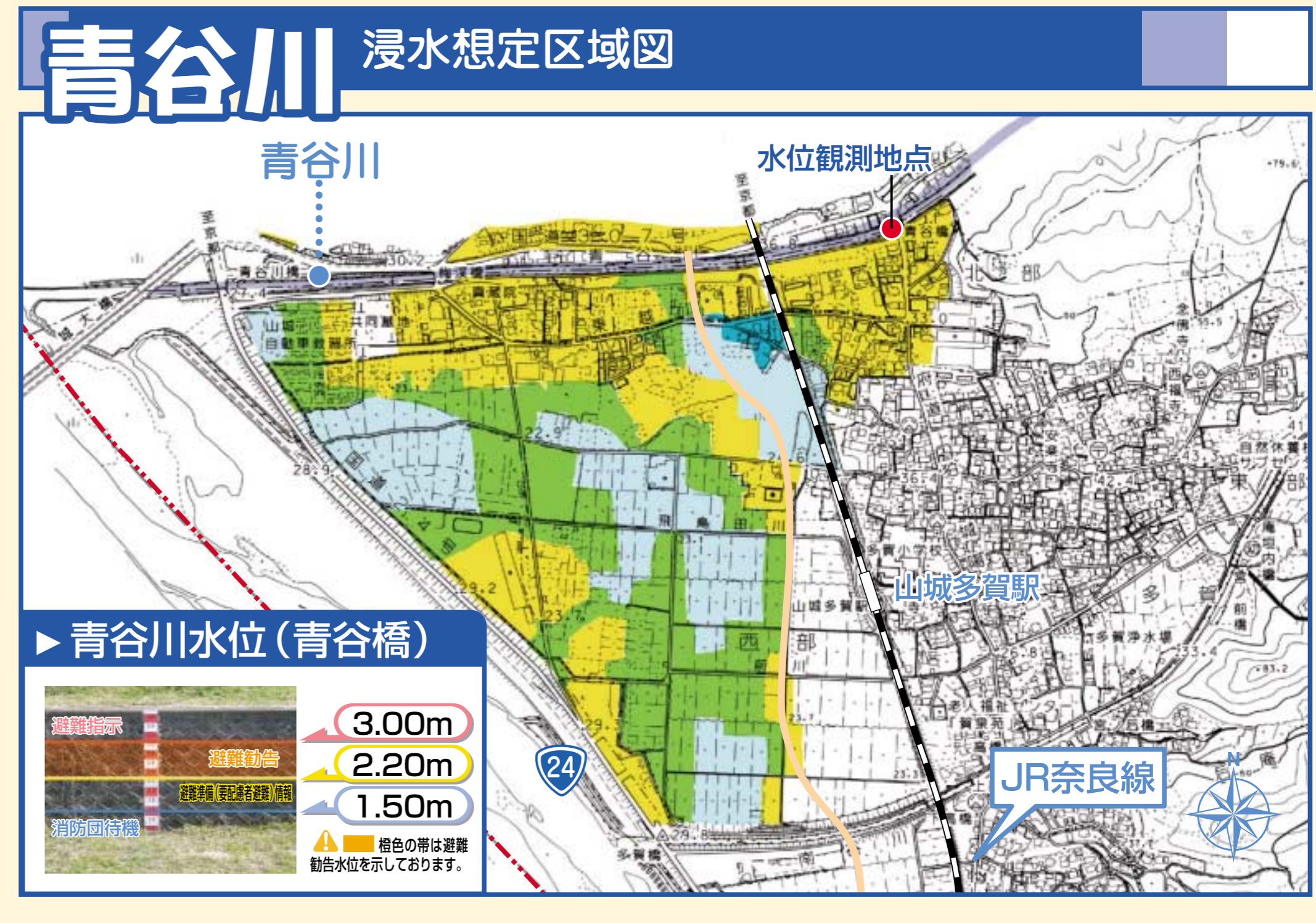
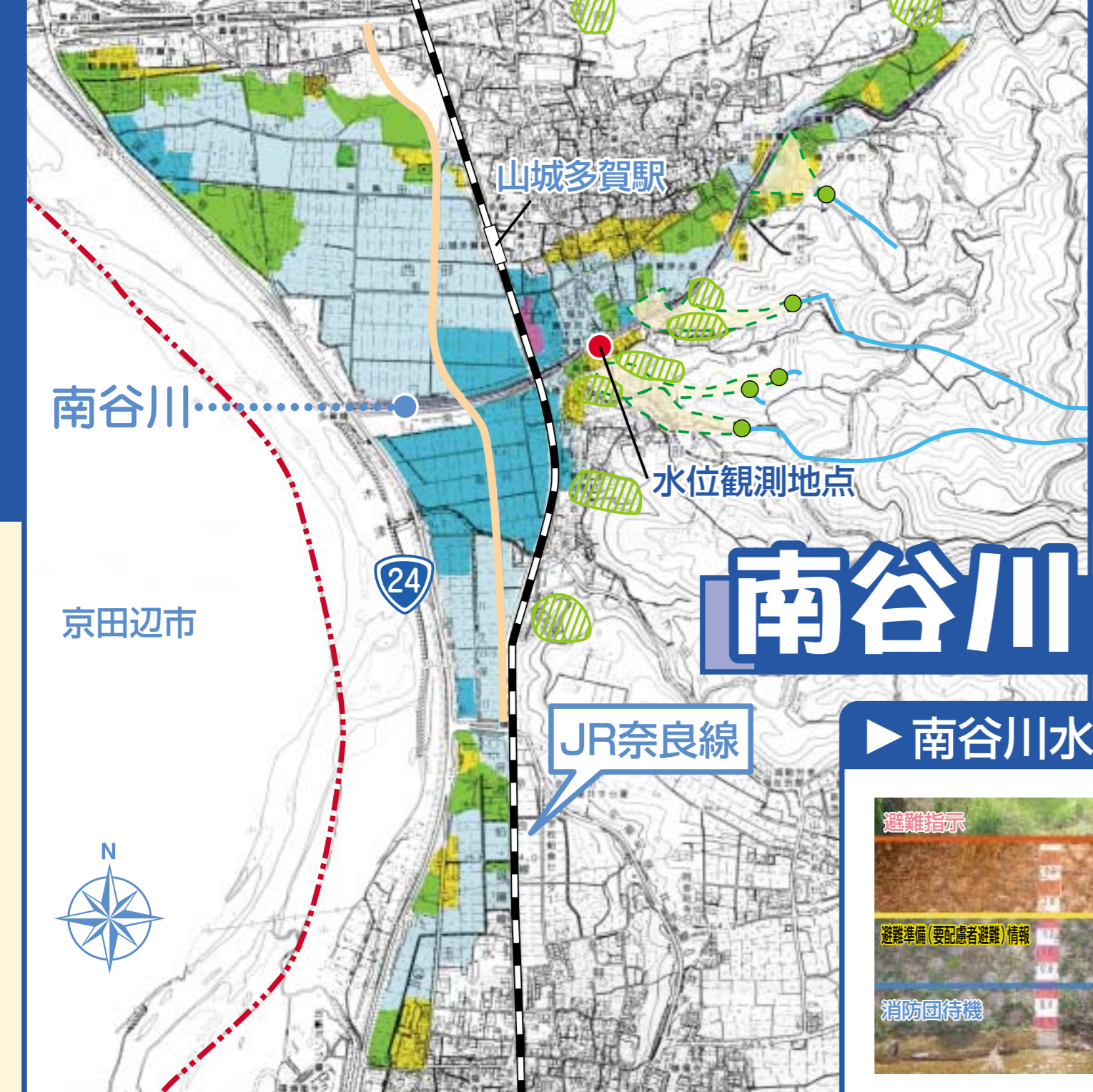
土石流
主流路
氾濫開始点
土石流による被害のおそれのある区域

深流の勾配が15以上で保全部が確保されず住宅等の新規立地が考えられる深流
京都府土木建設部防犯課作成、より平成15年5月現在

浸水した場合に想定される水深

- 0.5m未満の区域
- 0.5m～1.0m未満の区域
- 1.0m～2.0m未満の区域
- 2.0m～3.0m未満の区域
- 3.0m～5.0m未満の区域
- 5.0m以上の区域

対象降雨
東海豪雨相当の降雨
1時間雨量：95mm
48時間雨量：325.5mm



土砂災害について

土石流	地すべり	がけ崩れ
<p>山崩れが起きると、大きな石が落ちる</p> <p>● 山崩れが起きると、大きな石が落ちる</p> <p>● 雨が降ると、土が滑りやすくなる</p> <p>● 川の水位が下がる</p> <p>● 川が濁ったり、流れが止まる</p>	<p>地面が割れる</p> <p>● 地面にひび割れができる</p> <p>● 井戸や家の水が濁る</p> <p>● けややから水が噴き出す</p> <p>● 家や物に電線が入った穴が開く</p>	<p>表土が厚い</p> <p>● 表土が厚い</p> <p>● 浮石の多いがけ</p> <p>● せり出しているがけ</p> <p>● 湧き水がある</p>

水害時の避難方法

- 水位の確認**
水位が想定より高ければ、高所まで避難を待つこと。水面下には、マンホールなどの危険な場所があります。
- 足下に注意を払う**
裸足や長靴ではなく、ヒモで締められる運動靴をはき、長い棒を杖がわりにして安全を確認しながら歩くこと。
- 子どもやお年寄りを安全に**
お年寄りや病人は背負う。乳幼児は浮き袋などを利用するほか、はくれないようお互いの体をロープで結ぶなどの工夫をして、安全を確保すること。

災害に強い地域であるために

起こりうる大災害に対して、日ごろからの「備え」を住民自身が実践していく必要があります！

例えば...

- ▲ 地域で行われる防災訓練や避難訓練に積極的に参加しましょう。
- ▲ 過去に起こった災害経験や教訓などについて、地域で話し合ってみましょう。
- ▲ 身近なお年寄りや体の不自由な人の災害時支援について、家族や隣人と話し合っておきましょう。
- ▲ 地域の危険区域や避難場所、備蓄品などについての情報を、地域の人々と共有しましょう。